

令和3年度

事務事業評価表(令和2年度の実績評価)

記入年月日
令和3年4月1日

事務事業名		普通河川(水路)維持管理業務				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	030103000965
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	060101
政策体系	総合計画の施策名	0301		消防・防災対策の充実					建設課
	政策名	03		安全安心な暮らしのまちづくり				課長名	
	施策名	01		消防・防災対策の充実				グループ	管理グループ
	手段名	03		③消防防災拠点の確立				担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	08	03	01	01	00	河川総務事業		
法令根拠	河川法					事業期間			
						単年度繰返し(年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像) 普通河川の維持管理を行うことによって、災害の発生の防止、河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持など、河川本来の機能が十分に発揮できるようにし、もって公共の安全保持、公共の福祉を増進を図る。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 <ul style="list-style-type: none"> 普通河川(水路)境界確認 普通河川(水路)用途廃止協議事務 普通河川(水路)維持補修 法定外公共物(水路)工事施工承認事務 陳情、要望確認事務 水路苦情対応 普通河川(水路)パトロール

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
<ul style="list-style-type: none"> 堤防、護岸の維持管理 河道の維持管理 流水の正常な機能維持 治水、利水、環境管理 市民が行う普通河川管理について適正な指導を行う。 管理者でない者が行う、普通河川工事の工事施工承認等を行う 	普通河川(水路)境界確認申請件数	件	17.00	20.00	20.00	20.00	20.00	
	普通河川(水路)維持補修要望件数	件	28.00	46.00	20.00	20.00	20.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	
普通河川(水路)	普通河川(水路)本数	本	7,832.00	7,832.00	7,832.00	7,832.00	7,832.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	
普通河川(水路)の適正な管理	普通河川(水路)境界確認件数	件	17.00	20.00	20.00	20.00	20.00	
	普通河川(水路)維持補修件数	件	19.00	10.00	20.00	20.00	20.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費内訳	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(計画)	期間限定総投入量
	県支出金	千円	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0
	その他	千円	0	0	0
	一般財源	千円	15,000	31,500	42,000
	事業費計(A)	千円	15,000	31,500	42,000
	正規職員従事人数	人	4.00人	4.00人	4.00人

事業費の内訳	02年度事業費 実績(千円)		03年度事業費 予算(千円)	
	12 委託料	6,500		12 委託料
14 工事請負費	25,000		14 工事請負費	40,000
			21 補償補填及び賠償金	1,000
	合計	31,500	合計	42,000

事務事業名	普通河川（水路）維持管理業務	事務事業No.	30103000965	所属課	建設課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
普通河川（水路）の維持管理は、法定外公共物として平成16年度以前においては、市町村が機能管理を国・県が財産管理を行っていた。平成12年に地方分権一括法が施行され、国・県から市町村へ財産として移譲されると、機能管理、財産管理ともに市町村で行うことになった。河川数の多さや財政事情により、全ての要望への対応は困難であり、今後、計画的な改築や修繕を行う場合に緊急度や重要度を加味した選択が必要となる。最近増えているゲリラ豪雨などにより、改修の陳情・要望件数が増えている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
各地区の区長から、補修・改修の陳情・要望が絶えない。洪水などの災害の発生防止、河川環境の整備と保全、流水の正常な機能維持などが求められている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 普通河川・水路管理者として適正管理が必要であり、結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 普通河川及び水路の管理責任は市であることから、市が関与することは妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input type="checkbox"/> 向上余地がない 適正に管理していくには、改修工事や浚渫工事の箇所を増やす必要があるが、財政都合上現状では難しい。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 河川（水路）の適正管理が出来ない。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない ほかに類似事業は無い。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input type="checkbox"/> 削減余地がない 補修工事、浚渫工事など、対応箇所は多数のため削減することはできない。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内全域が対象であり、公平に対応している。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	普通河川（水路）については、要望も含め危険箇所が多数あり、予算もかかることから整備が進まなかったが、新たな財源（緊急自然災害防止対策事業債、緊急浚渫推進事業債 充当率100% 交付税措置率70%）を使用し、改修工事、浚渫工事を年次的に進めていく。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上	維持		○		低下	維持			
成果		コスト																			
		削減	維持	増加																	
向上	維持		○																		
低下	維持																				
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>